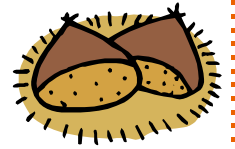




本康歯科ニュース

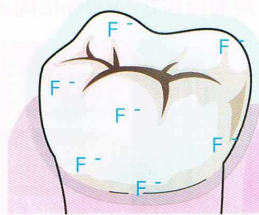


「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！！

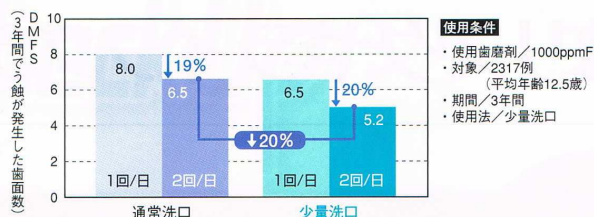
フッ化物応用法のスタンダードは、
低濃度多数回応用。

フッ素のう蝕予防メカニズム

フッ素のう蝕予防の主要メカニズムは、低濃度のフッ素による脱灰の抑制と再石灰化の促進です。この効果を最大限に発揮させるため、比較的低濃度（950ppmF）のフッ化物配合歯磨剤を多数回応用して、口腔内のフッ素濃度を再石灰化促進濃度（0.05～0.1ppmF）以上で長時間保持させる低濃度多数回応用（Low Dosage & Frequent Use）をおすすめします。



フッ化物配合歯磨剤は「使用後の洗口量が少ないほど」
「1日の使用回数が多いほど」う蝕予防効果が高まります。



引用文献：Chesters, R.K. "Effect of oral habits on caries in adolescents." Caries Res. 1992; 26:299.

左の説明は歯磨き粉の上手な使い方です。虫歯予防の為の歯磨き粉を買うときはフッ素の濃度が約 1000ppmF の濃度のものをお勧めします。そして 1 日に何回も歯を磨きましょう。まず朝起きたら磨くことにより、睡眠中に増えた口腔内の細菌をなくしてから、朝ご飯を食べましょう。朝ご飯を食べたら磨きましょう。そして、昼ご飯の後、おやつの後、晩ご飯の後に磨きましょう。また寝る前にもう一度磨いてください。細菌は夜寝ている間にも増殖します。

歯磨き後に口をゆすぐのは 1.2 回程度にしてください。口の中に歯磨き粉のにおいや味が残るくらいにしてください。口の中に歯磨き粉が残ることで薬効成分が長時間歯に作用し、歯をより強くすることでしょう。



お役立ち歯科情報

事故で歯が抜けてしまった時の応急処置



「友達とぶつかって歯が抜けてしまった」「公園の遊具から落ちて前歯を打ち、抜けてしまった」。歯の根っこから全て抜けてしまうほど強く顔をぶつけることは、大人の場合少ないかもしれませんが、子どもはまれにあってしまいます。皆さんはこういった時、どのような応急処置を行ないますか？ 緊急事態ですが、そんな時でも慌てず知っておいてほしいことがあります。それは、**抜けた歯はそれでおしまいにはならない**ということです。

まず、砂などの異物が口の中に入ってしまった場合は水で口をよくゆすいで洗い流します。出血がある場合は清潔なガーゼやハンカチで押さえ、血を止めるようにしましょう。

また、抜けてしまった歯はすぐに拾って回収します。歯に汚れが付いていたら、水でさっと軽く汚れを洗い流します。そして、抜けた歯を乾燥させないよう「清潔な牛乳」に浸して下さい。近くにコンビニがあったらそこで牛乳を買って浸しましょう。もし牛乳がすぐに準備できない場合は、**口の中に抜けた歯を含んで**歯の表面が乾かないようにします。そして**すぐに（できれば30分以内に）歯科医院で診てもらいます。**上手くいけば抜けた歯を元通りにする事ができます。

ただし、成功するかどうかのポイントは“スピード”です。というのも、歯根膜は乾燥してしまうと細胞が死んでしまうため、生きているうちに戻さないと、歯と骨を着けることができなくなってしまいます。その時間がわずかに“30分”といわれています。

また、抜けてしまった歯は決して自分で戻さないようにして下さい。細菌感染の恐れがあり危険なので、それはやめて下さいね。

